外 来 受 診 表

受付時間 午前／ 8：45～12：00　午後／13：00～16：45
休診日 日曜 祝日

等潤病院 内科系		月	火	水	木	金	土
内科	午前	谷口 呼吸器内科 一般内科	鈴木 腎臓内科 一般内科	谷口 呼吸器内科 一般内科	山田 循環器内科 一般内科	久野木 消化器内科 一般内科	佐藤 呼吸器内科 一般内科
		山田 循環器内科 一般内科	新分 呼吸器内科 一般内科	久野木 消化器内科 一般内科	鈴木 腎臓内科 一般内科	西田 血液内科 一般内科	岡村 呼吸器内科 一般内科
		新分 呼吸器内科 一般内科	西島 呼吸器内科 一般内科		日下 緩和ケア 外科	清水 呼吸器内科 一般内科	山田(※1) 循環器内科 一般内科
					武内 一般内科		
					佐々木 循環器内科 一般内科		
	午後	阿部(大) 血液内科 一般内科	久保田 呼吸器内科 一般内科	鈴木 腎臓内科 一般内科	新分 呼吸器内科 一般内科	佐藤 呼吸器内科 一般内科	阿部(大) 血液内科 一般内科
		松本 循環器内科 一般内科	佐藤(英) 腎臓内科 一般内科	佐藤 呼吸器内科 一般内科	小野(啓) 呼吸器内科 一般内科	日下 緩和ケア 外科	
		野田 神経内科(認知症) 一般内科	沖田 一般内科		佐々木 循環器内科 一般内科	西田 血液内科 一般内科	
		西村 呼吸器内科 一般内科					
循環器内科	午前	玄	玄	玄	川内	玄	川内(※2)
	午後	玄 松本	川内			川内(※2)	

※1 第1, 3, 5週　※2 第2, 4週

等潤病院 外科系		月	火	水	木	金	土
外科	午前	西 富	伊藤(雅) 小関	西 渡邉	仁瓶	松永(浩) 富	交代制
	午後	渡邉	小関 有賀	松永(浩) 小野(宏)	仁瓶	山根	交代制
乳腺外科	午前	叶		叶		叶	
整形外科	午前	堀越	深井	大澤	深井	小川(剛) 堀越	
	午後	堀越	深井	武内(俊) 大澤	小川(剛) 深井	堀越	
脳神経外科	午前	徳植	石井	徳植	石井	石井	徳植
	午後				田村		

等潤病院 その他診療科		月	火	水	木	金	土
泌尿器科	午前			中村			
	午後			中村		田中	松本(※1)
皮膚科	午前 午後	伊藤(聖)			伊藤(聖)		
リウマチ科	午後			川口(※2)			
放射線科	午後	前嶋	前嶋	前嶋	前嶋	前嶋	交代制
内視鏡センター	午前	久野木	赤澤	小野(宏)	久野木	小関	富
	午後	小関	赤澤	小関	久野木	久野木	
血液浄化センター	午前 午後	鈴木	佐藤(英)	鈴木	鈴木	伊藤(雅)	伊藤(雅)
健診センター	午前	松本	谷口(※4) 久野木(※3)			柳澤	國本
	午後	叶(乳腺)		伊藤(雅) 叶(乳腺)	伊藤(雅)	叶(乳腺)	國本

※1 第3週　※2 第2, 4週　※3 第1, 3週　※4 第2, 4, 5週

常楽診療所		月	火	水	木	金	土
内科	午前	阿部(大)			田澤	谷口	沖田
脳神経外科	午前		宮崎				
訪問診療	午前	日下	沖田	伊藤(雅)		山根	
	午後			中島	高岡		

注）学会参加等により、休診・代診や一部変更の可能性がございます。最新情報はホームページをご確認ください。

Jiseikai public health care corporation since 1981

ご予約・救急外来は
03-3850-8711
（病院代表）

患者サポートセンターは
03-3850-7518
（直通）

詳細は等潤病院ホームページをチェック
https://www.jiseikai-phcc.jp/

編集後記

ついにベールを脱いだ等潤メディカルプラザ。お洒落好きな私は建物のフォルムに毎日足止めされてしまいます。建物の中がとても気になりますが、もう少しの辛抱。しばらくは想像と妄想で楽しむ毎日です。
（診療技術部・松島 孝昌）

梅雨が明け、夏がやってきます。暑くなると熱中症になりやすく、体調を崩しがちです。十分な栄養補給をし、夏を堪能したいものです。元気で夏を乗り切るためにも、体調でお困りの際は等潤病院にお尋ねください。
（看護部・望月 未央）

今年の「土用の丑の日」は7月30日です。この日に「う」が付くものを食べると夏負けしないと言い伝えがあります。うなぎもここからヒントを得たようです。うなぎパワーで夏バテを予防しましょう。
（リハビリテーション部・鈴木 悠太郎）

広報誌に関するご意見ご感想は是非こちらまでご連絡ください！
tojun-koho@jiseikai-phcc.jp

発行元
社会医療法人慈生会
広報委員会
〒121-0075
東京都足立区一ツ家4-3-4
TEL：03-3850-8711
FAX：03-3858-9339
発行日：2023年7月1日
VOL. 44 2023 Summer

慈生会だより

2023 Summer VOL. 44 ご自由におとりください

等潤病院・常楽診療所・健診センター等潤・イルアカーサ・グループホーム常楽

撮影：副院長 谷口泰之

夏の代表的な花はひまわりです。一面の「＊＊畑」といった風景が好きで、この写真は昭和記念公園のひまわり畑で撮影しました。熱中症も心配な酷暑でしたが、ひまわりから元気いっぱいの生命力をもらい、暑い夏も乗り切れそうな気がしました。皆さんはいかがですか？

診療科ページはこちら

慈生会の「今」を伝える

社会医療法人慈生会 等潤病院副院長
小関 啓太
外科一般
消化器外科
内視鏡治療
腹腔鏡外科
東京医科歯科大学 医学部 臨床教授
日本臨床外科学会評議員
日本外科学会（専門医・指導医）
日本消化器外科学会（専門医・指導医）
日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医）
日本消化器病学会（専門医）
日本がん治療認定医機構（認定医・暫定教育医）
検診マンモグラフィ読影認定医師
日本リハビリテーション医学会認定臨床医

梅雨の中に夏の熱気も感じられる季節になってきました。それぞれの業務で忙しい日々を送られている皆さま、ご健勝のことと存じます。
さて、昨年12月に慈生会事務棟が新築・移転しました。鉄筋コンクリート造りのモダンな建築物が出現し、事務系、介護系、保育室などの機能が移転しました。1階の会議室はこれほどかと驚くほど多くの時間で利用されています。本当に機能的に充実した施設ができたと実感しているところであります。

そして現在、隣接地で待望の等潤メディカルプラザ棟の建築が進んでいます。建設の槌音が毎日聞かれ、新しい構造物が徐々にその姿を見せつつあります。まさに感動的であり、活気を感じます。より良いものをつくろうとする話し合いは継続され、建築施工側との会議も100回を軽く超えました。話し合われた内容がだんだん形になっていく過程を目の当たりにしています。そして、竣工までもう少しという段階になってきました。

職場において改築や増築を経験することは、そう頻回にあるものではありません。等潤病院においては1979年に病院に改組してから増床などを繰り返し、2007年まで今の建物に進化してきた歴史があります。病床数の変遷や医療機器、施設基準の取得の歴史などをみると、建物と病院機能とは一体のものであると感じます。

等潤メディカルプラザは、慈生会として医療や介護のさらなる充実をめざして、理念である「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」の実践を深めるために開設されます。新しく開設されるものとしては、緩和ケアセンター、デイサービス、有料老人ホームがあります。既存の機能を強化して移設するものとしては、健診センター、腎センター、デイケア、訪問療養支援診療所があります。このうち、健診センター、腎センター、緩和ケアセンターは等潤メディカルプラザ病院として開設されます。また、在宅医療や介護系サービスは既存の介護系事業所と含めて、等潤メディケア事業部に統合されます。まさに新しい慈生会のスタートです。

これらの内容は、この紙面では書ききれないのですが、ひとつだけ紹介させてください。緩和ケアセンターの開設は近隣でも珍しいもので、足立区内のあまたある病院の中でもまだ存在していない診療科になります。当センターは全室個室となり、終末期でも快適にお風呂に入っていただけるようにし、キッチンやダイニングのあるゆったりとした家族の控え室も充実させました。地域医療に大きく貢献できるものと考えています。がんの疼痛やそのほかの慢性疼痛などに悩まれている方は、是非ご検討ください。そのほか、等潤メディカルプラザはたくさんの機能を有しておりますので、ホームページや慈生会からのお知らせにご注目いただければ幸いです。

慈生会は今、等潤メディカルプラザの建築が着々と進んでおり、新しい医療と介護を提供する準備を鋭意進めています。等潤病院では急性期医療の密度を上げ、等潤メディカルプラザと機能分化を図ろうとしています。地域医療を守るために連携や往診などを強化して、体制を整えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

ongoing 2

等潤メディカルプラザ

2023年9月にオープン
慈生会の「トータルヘルスケア」を進化させる“プラザ”（スペイン語で広場の意）をご紹介します

“ 一本の木がある中庭。そこには高齢者も働き世代も子どもも集い、談笑する。その中庭に面して、病院もスーパーマーケットも床屋もある ”

これは、理事長伊藤雅史が地域包括ケアシステムを実践する北欧のとある病院施設の事例報告で目の当たりにした景色であり、「等潤メディカルプラザ」コンセプトの原風景だと語る───

2023年9月にオープン予定の「等潤メディカルプラザ」開設は、理事長が2007年に就任してからスタートさせた慈生会改革の第二章ともいえる法人のビッグイベントです。2022年12月に先駆けて移転した新事務棟には、法人の中核である法人事務局だけでなく、介護系事業所、訪問看護ステーション、保育室の機能が集約しています。そして、新しく竣工する「等潤メディカルプラザ」には、等潤病院の急性期医療を強化する「等潤メディカルプラザ病院」が入り、個室・半個室でゆったりと過ごせる「腎センター等潤」、足立区と近隣では初となる完全個室・広い家族室を備えた「緩和ケアセンター等潤」、そして、等潤病院前身の足立クリニックを設立した創始者へのリスペクトを込めて「健診センター等潤」を新規・移転開設します。併せて、在宅医療から通所サービスを強化した「等潤メディケア診療所（現・常楽診療所）」を移転させ、通所介護サービスはスポーツクラブさながら最新マシンが並ぶリハビリ特化型デイケア「いきいき倶楽部等潤」と、本格シミュレーションゴルフをはじめカルチャーセンターのように自分で過ごし方を選べる“生活リハ”の場「わくわく倶楽部等潤」に機能分化します。また、プラザに併設される有料老人ホーム「やすらぎホーム常楽」に入居していただければ、これらのサービスは階下に降りるだけで送迎の負担なくご利用いただくことができ、お身体のどんな不調があっても本院である等潤病院まで“徒歩0分”と安心です。

この「等潤メディカルプラザ」の完成により、一ツ家の「等潤病院」「等潤メディカル事業部」「法人事務局」と、六木にある介護老人保健施設「イルアカーサ」と併せて、慈生会の目指すシームレスな「トータルヘルスケア」の輪が補強されます。

こうして見渡すと、理事長の伊藤が衝撃を受けた北欧の地域包括ケアシステムの景色が「プラザ」として完成するイメージがわいてくるのではないでしょうか。今、オール慈生会を挙げて、職員一同新しいプラザの旗揚げのために邁進しています。その横顔をみていると慈生会はこれからも進化していくのでだという予感がします。

「プラザ」とはスペイン語で広場という意味があります。慈生会の新しい“広場（プラザ）”で、地域の皆さまの肉体的な健康・精神的な健康を目指し、理念の「地域と共に生きる慈しみのトータルヘルスケア」を実践するべく、等潤病院・等潤メディカルプラザ病院・等潤メディケア事業部・老健・法人事務局が一体となって支援いたします。この地域の皆さまが安心して集い、談笑する場の一つとして覚えて頂ければ幸いです。興味がある、気になるという方は是非職員にお声がけください。そして、皆さまの知りたいことも教えてください。この「慈生会だより」でお伝えしてまいります。

等潤メディカルプラザフロアガイド

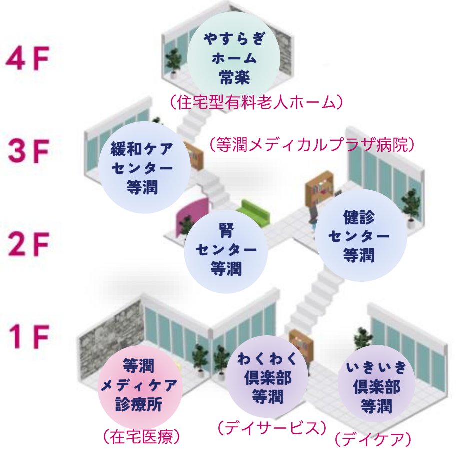
医療

【3F】緩和ケアセンター等潤
緩和ケアに特化した病棟です。がんを治すことを目標にした治療（手術、薬物療法、放射線治療など）ではなく、がんの進行などに伴う体や心のつらさに対する専門的な緩和ケアをチームで行います。長期入院を目的とせず、症状をコントロールし在宅に戻るお手伝いをさせていただきます。患者様はもちろん、ご家族の支援も行います。

【2F】腎センター等潤
主治医からの要請に応じ、血液透析を中心とする血液浄化療法の実施と管理を行います。最新のシステムで透析中の状態変化にもいち早く対応します。見晴らしよく明るい室内で、ゆったりと透析を受けられます。

【2F】健診センター等潤
病気の予防や早期発見、健康増進のためにさまざまな検査を行う施設です。広いフロアで分かりやすく安心して過ごしていただけます。また、婦人科は女性医師もいて安心です。

【1F】等潤メディケア診療所
訪問診療を中心に行う診療所です。通院が困難な利用者様のお宅に医師が定期的に訪問して診療を行います。等潤病院と連携し、必要時受診や入院対応が可能です。



介護

【4F】やすらぎホーム常楽
住宅型有料老人ホームです。日常生活動作自立（介護認定なし）状態の方から要支援・要介護の方まで、様々な状態の高齢者を幅広く受け入れています。基本的な生活援助だけでなく、緊急時も隣接する等潤病院で対応するほか、併設する訪問介護や通所介護サービスを利用しながら快適に生活できます。

【1F】わくわく倶楽部等潤
デイサービス（通所介護）です。利用者様の健康維持を目的とし、学校式アクティビティ（おとなの学校）をはじめ、シミュレーションゴルフや多様な“生活リハ”メニューから選んで過ごし、集団での運動や交流を図ることで筋力維持や認知症予防につなげます。話題のベッド型全身マッサージ機での癒しもあります。

【1F】いきいき倶楽部等潤
デイケア（通所リハビリテーション）です。デイケアは利用者様のリハビリ治療を専門に行い、レッドコードや最新鋭マシーンを用いて利用者様の状態に適したリハビリメニューに取り組んでいただき、身体機能の維持や回復、認知症予防および改善などを目指します。

慈生会の現場人（ゲンバビト）

JISEIKAI TOJUN PROFESSIONAL

等潤病院 診療技術部副部長 薬剤グループ 鷹野 理

薬剤師とは、調剤や服薬指導・薬歴管理などを通じて人々の健康を支える薬の専門家です。等潤病院の急性期から在宅期医療にわたる“トータルヘルスケア”を支える縁の下の力持ち、鷹野副部長の素顔にせまります。

薬剤部紹介ページはこちら☞

鷹野理のこれまで ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

幼いころから体が弱かったことがきっかけで、何となく医療に関わる仕事を志し薬学部へ進学しました。大学院では、臨床薬学という患者様と接しながら薬剤師としての知識をいかに還元するかという学問を学び、研修先の大学病院では医学部の学生と混じって学ぶ機会も得ました。大学院卒業後は医学部再受験を目指した期間もありましたが、叶わずに病院薬剤師の仕事に就いて24年になります。

そのうち15年勤務した病院では、がん患者様に関わる仕事を中心に「チーム医療」に深く関りました。当時がん医療におけるチーム医療という考え方が海外から持ち込まれたばかりでした。がん化学療法を受ける患者様を支えるチームや、緩和ケアという主にがんによる心や体のつらさを抱える患者様を支えるチームの立ち上げに関わった日々は大変刺激的でした。その中で、「あなたは薬剤師として患者様に何ができるの？」という命題を日々つきつけられ、悩んだ日々の中で現在の仕事に対するスタンスがつくられたような気がしています。それは、さまざまな病気を抱えて通院される全ての患者様に対し、残念ながらがんを患ってしまったとしたら…がん領域の専門家として何ができるかだけでなく、それが生活者であるその方自身の人生に寄り添ったサポートになっているのかという意識を常に持つよう努めることです。また、薬剤師として「薬全般の専門職種」という自覚で常に研鑽していきたいと思います。

◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀◀ 鷹野理のこれから

2022年6月から等潤病院で勤務しています。慈生会は等潤病院を中心に、訪問診療、訪問看護、老人保健施設をはじめとする地域を支えるためのリソースをほぼほぼ抱えている法人です。さらに、等潤メディカルプラザが竣工すれば緩和ケアセンターも開設されますので、地域で生活される皆さまをより長期間サポートできる体制が整います。昨今、病気を抱える前から人生の最後の時まで、薬剤師も長い期間患者様と関わることが求められています。等潤病院の薬剤科一同、薬のことは専門職種としての責任を持ち、さらに地域で暮らす皆さまをサポートさせていただく意識を忘れずに日々関わらせていただきます。お薬の困りごと、気がかりな点がございましたら、是非薬剤師をご活用ください。院内で見かけましたら、私にお声かけいただけると幸いです。

NEWS

01 プラザオープニングスタッフ募集！

2023年9月にオープン予定の等潤メディカルプラザのオープニングスタッフを大募集しております。打ちっぱなしのコンクリートと優しい木目が印象的なクールモダンの新しい建物で、最新鋭の機器とともに気持ちよく働いていただけるよう、随所に工夫をこらしてお待ちしております。ご興味のある方は右のQRコードより「プラザ採用特集」をご覧ください。

詳細はこちら

02 避難所運営訓練に参加しました！

6月25日（日）、保塚地区・東栗原小学校にて、避難所運営訓練が開催されました。本会と地域の方々で連携し、非常時を想定した訓練の一つとして、当院職員からはAEDの使用方法を実技を交えてご説明しました。コロナ禍以来の開催となり多くの方にご参加いただきました。本会はこれからも地域の皆さまが安心して暮らせるよう、積極的に活動してまいります。

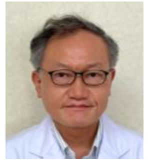
詳細はこちら

03 理事長が愛媛新聞の取材を受けました！

本会理事長・伊藤雅史が故郷の愛媛新聞「東京えひめ人」に掲載されました。愛媛県西条市に生まれ、医科歯科大学を経て慈生会理事長に就任し、理念に掲げた「トータルヘルスケア」の実現のために行う経営改革について、また、病気を診るだけでなく患者様のこれまでとこれからの人生に医師としてどのように関わるかが重要という言葉が紹介されました。

詳細はこちら

新入職医師のご紹介

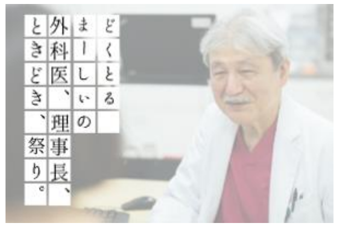


日下 浩二 医師
等潤病院外科
緩和ケア

●外来日●
木曜午前（外科）
金曜午後（緩和ケア）
月曜午前（訪問診療）

日本外科学会（専門医・認定医）
日本プライマリケア連合学会認定医
検診マンモグラフィー読影認定医
趣味：料理、プロ野球観戦

「6月から外科と緩和ケアとして入職いたしました日下です。消化器外科を専門としておりますが、緩和ケア病棟の準備も進めております。地域の皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます」



6月18日にシェアされた投稿
作成者: JISEIKAI_TOJUN_HOSPITAL

☝コラム本文はこちら

『 ウィズコロナ、ご自身の健康ともしっかり向き合いましょう 』

等潤病院の公式Instagramでは、当院のことや、健康に関するお役立ち情報、病院の情報をわかりやすく発信します。インスタグラムをお使いの方は、ぜひフォローや「いいね！」をお願いいたします。

ドクターニッシイーのよもやまばなし「ラグビー」

～ ドクターニッシイーとは、当院副院長・西直人先生です ～

皆さま、今年がラグビーワールドカップの年で、実はもう開催まで100日を切っていること、ご存知でしょうか。私は、学生時代にラグビーの選手でした。さすがにもうプレイをすることはできませんが、今も国立競技場や秩父宮ラグビー場に観戦に行きます。雨の日でも、傘は周囲の人の観戦の邪魔になるので合羽を着て、一人で見に行きます。今年の日本代表は、今までになく強いと思います。ぜひ日本を応援してあげてください。ちなみに今回はフランス開催です。

ラグビーは１チーム15人と多く、チームをオーガナイズするのは非常に困難な競技です。さらに試合開始前後には、コーチ、トレーナー、通訳、栄養士などの多くの職種が関わります。

それは、医療も同じです。「チーム医療」とは、資格の有無にかかわらず、多数の人の協力で一人の患者様が回復し、自宅に戻られます。ラグビーと似ています。小雨降る秩父宮のラグビー場の片隅で、私の患者さんが元気になって早く退院できればいいなとふと考えています。

PICK UP！

脳梗塞（脳卒中のひとつ）

脳血管が詰まり血流が停止し、必要な栄養や酸素が供給されずに脳の神経細胞が壊死する病気です。治療開始が早ければ早いほど後遺症が軽くなります。等潤病院では初期点滴治療から血管内治療までスムーズに連携しています。

文／ 脳神経外科　石井康博・徳植一樹

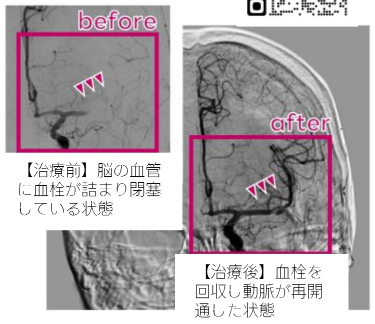
診療科紹介ページはこちら☞

脳は、心臓を動かし呼吸する生命活動をはじめ、感情や感覚をつかさどり、多くの栄養と酸素を必要とする器官です。脳細胞に栄養と酸素を運ぶのが動脈を流れる血液ですが、血管が詰まったり破れたりして血流量が減ることによって脳の機能の一部が壊れてしまう病気全般を「脳卒中」といいます。脳卒中は日本人の死亡原因の上位であり、死亡を免れたとしても重い後遺症が残る可能性のある病気です。左図の「FAST（ファスト）」をチェックし、当てはまる症状があれば（FAS）すぐに（T）ご来院ください。

今回は、脳卒中の中で最も多い「脳梗塞」に対する当院の治療法についてご紹介します。脳梗塞は、脳血管が詰まってしまって脳細胞に必要なエネルギーが供給されず、神経細胞が壊死してしまう病気です。壊死した細胞はもとに戻ることがないため、時間が経つほどに強い後遺症が残ります。近年、超急性期脳梗塞に対する治療法の進歩は目覚ましく、当院でも発症から4.5時間以内であれば t-PA療法を、 t- PA療法が無効だった場合や発症から4.5時間超の場合はカテーテルを用いた脳血管内治療を行い、初期治療から血管内治療までスムーズに移行します。

t-PA療法とは、アルテプラーゼという薬剤を用いた血栓溶解療法のことで、詰まった血栓を溶かす溶剤を点滴し、再度血液が流れるようにする治療です。

脳血管内治療は、従来はステントリトリーバーを用いて血栓をからめとる方法を行っていましたが、最近は吸引カテーテルによる血栓吸引も併用しています。こうしたデバイスの進歩により、血栓回収の成功率は大きく高まりました。右の図は、血栓を回収し、脳血流を再開させることができた一例です。治療前は血栓が詰まって血流が途絶えていますが、血栓回収術後には動脈が再開通し、脳梗塞の縮小、それに伴う症状の改善が見られました。



【治療前】脳の血管に血栓が詰まり閉塞している状態

【治療後】血栓を回収し動脈が再開通した状態

脳梗塞は、発症から早ければ早いほど、治療方法の選択肢が多く治療成績も上がります。これを読んだ皆さまから周りの方に伝えていただき、お気軽にご相談くださいますと幸いです。

石井医師の外来診療／火曜・木曜・金曜 9：00～12：00
徳植医師の外来診療／月曜・水曜・土曜 9：00～12：00